

本記入例はあくまでも一例です。推薦書を作成する上での参考として下さい。

土木学会田中賞「技術部門」推薦書 記入要項

1. 「田中賞募集要項」ならびに、この記入要項をよく読んでから、推薦書の記入を行って下さい。
2. 推薦書は1／8～8／8の8頁から成っています。各々の頁で必要事項を記載して下さい。様式は変更しないで下さい。
3. 推薦書は、PDF ファイルとし、HP の記載に従って提出して下さい。
4. 第1項の「対象技術の名称」は、商品名等ではなく、技術の内容を反映したわかりやすいものとして下さい。
5. 第2項の「対象技術の開発者」は、募集要項でいう受賞主体であり、賞に推薦することを受賞主体が了解の上応募して下さい。
6. 第3項の「連絡担当者」には、土木学会田中賞選考委員会との連絡を直接担当される方を記入して下さい。
7. 第4項の「適用実績」について、推薦技術の初適用事例や代表的な適用構造物名、適用構造物数を記入して下さい。募集対象期間外の事例を「適用実績」に含めて構いません。
8. 第5項の「橋梁完成年月」は対象となる技術が適用された代表的な構造物の完成年月であり、「技術適用年月」は対象技術が適用された年月です。工期の途中であっても差しかえありません。技術適用年月あるいは橋梁完成年月のいずれかが、対象期間内にある技術が対象となります。
9. 第5項の「＜参考記載＞関係した団体」は、募集要項でいう受賞主体ではありません。
10. 推薦する技術の適用対象が橋梁そのものでなく、これに類するもの場合には、第5項の項目名を、必要に応じて変更のうえ、記入しても構いません。
11. 鋼橋の場合、第5項の「構造形式・上部構造」には、床版構造についても記入して下さい。
12. 第6項の「技術の特徴の要約」には、第7項の「技術の特徴」の要約（600字以内）を記入して下さい。
13. 第7項の「技術の特徴（計画、設計、製作、施工など）・今後の展望・参考文献」は、3／8までを使用し、それぞれについて見やすく記入して下さい。参考文献が多い場合は代表的なものにとどめ、所定欄を超えないようにして下さい。なお、参考文献は提出期限の時点で既発表のものに限ります。
14. 推薦書4／8～8／8には、技術の特徴がわかる図を貼り付け、簡単な説明を加えて下さい。また、鮮明な画像データも直接貼り付けて下さい。原則として、技術の全体が分かるような写真を最低1枚、部分や特徴を示す写真を数枚貼り付け、それぞれに簡単な説明を付けて下さい。
15. 推薦書以外の参考資料は一切添付しないで下さい。
16. 締切日時 2026年1月20日（火）17：00
17. 提出先 田中賞推薦書提出 HP URL：http://committees.jsce.or.jp/tanaka_sho/oubo
18. 連絡先・問合せ 土木学会 田中賞選考委員会 TEL：03-3355-3442 E-mail：office@jsce.or.jp

※「橋 Bridges in Japan」への資料提供について（ご協力お願い）

土木学会では、主に国内で竣工した橋梁を対象に「橋 Bridges in Japan」（橋梁年報）を毎年11月頃発刊しております。田中賞の発表後に「作品部門」「技術部門」に応募されたものについて、連絡担当者の方に、構造工学委員会橋梁年報編集小委員会より、掲載の可否および掲載の場合の資料の提供などについてご連絡させていただきます。ご協力お願いいたします。

なお担当者連絡先については、本推薦書に記載の内容を田中賞選考委員会より提供いただくことをご了承下さい。

西暦 2026年 〇月 〇日

土木学会田中賞選考委員会 御中

推 薦 者

氏 名 土木 太郎 （会員番号：123456789）

所属先 〇〇高速道路（株）

住 所 〇〇県〇〇市〇〇

会社名等を記載して下さい。

令和7年度土木学会田中賞技術部門の選考対象として「 〇〇構造物の〇〇補強工法 」を別添推薦書のとおり推薦します。なお、賞に応募することに対して受賞主体の了解を得ています。

技術の名称を記載する。工事名ではありません。推薦書（1/8）第1項の「対象技術の名称」と同じとする。

以 上

様式は変更しないで下さい。また、対象外の欄には「－」を記入して下さい。

1/8

令和7年度土木学会田中賞技術部門推薦書

西暦2026年〇月〇日 提出

受付 西暦 年 月 日

1	(ふりがな) 対象技術の名称	〇〇こうぞうぶつの〇〇ほきょうこうほう 〇〇構造物の〇〇補強工法			技術の名称を記載する。 工事名ではありません。	
2	対象技術の開発者	〇〇高速道路(株)・(株) 〇〇コンサルタント・〇〇製作所(株)・〇〇建設(株)				
3	連絡担当者	(ふりがな) はし こういちろう 氏 名 橋 好一郎	所属先 〇〇建設(株)		TEL 03-4567-8901	
		所属先所在地 〒123-4567 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇				
		E-Mail address@machigaenaiyouni.co.jp				
4	適用実績	初適用：××橋(△△県・PC連続ラーメン橋・西暦〇〇〇〇年) 適用事例数：△△橋、〇〇橋など××例(うち海外〇例)。			本欄で示す橋梁の 完成年月を記入する。	
5	対象技術が適用された 代表的な構造物と 工事に関する情報	(ふりがな) 名 称	まるまるはし 〇〇橋	推薦する技術が 適用された年月 を示す。	橋梁完成年月 2025年4月	
					技術適用年月 2024年4月	
		所 在 地	〇〇県〇〇～△△県△△			
		<参考記載> 関係した団体	事業者 〇〇高速道路(株) 設計者 (株) 〇〇コンサルタント 施工者 〇〇橋梁(株)			計画、基本設計と詳細設計等を分けて併記する(受賞主体ではありません。)
		橋 種	道路橋・鉄道橋・歩道橋 ・その他()			
		設計活荷重	B活荷重			
		構 造 形 式	上部構造 PC3径間連続ラーメン箱桁橋			
			下部構造 RC壁式橋脚(大口径深礎)			
	橋長・支間割	橋長 252.5m	支間割 75.0m+100.0m+75.0m			
	幅員構成	有効幅員(鉄道橋の場合総幅員を記載) 6.5m 内訳 0.5m(路肩)+2@2.75m(車線)+0.5m(路肩)				

参考文献は、基準類ではなく、当該橋梁の特徴を理解できる論文等を記載する。

**令和7年度土木学会田中賞技術部門
推薦書**

技術の名称

〇〇構造物の〇〇補強工法

技術の特徴がわかる図や写真

〇〇〇〇〇〇（図や写真を示すスペースであるため、文章による説明は最小限とすること） 〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇（レイアウトは自由にしてよい） 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

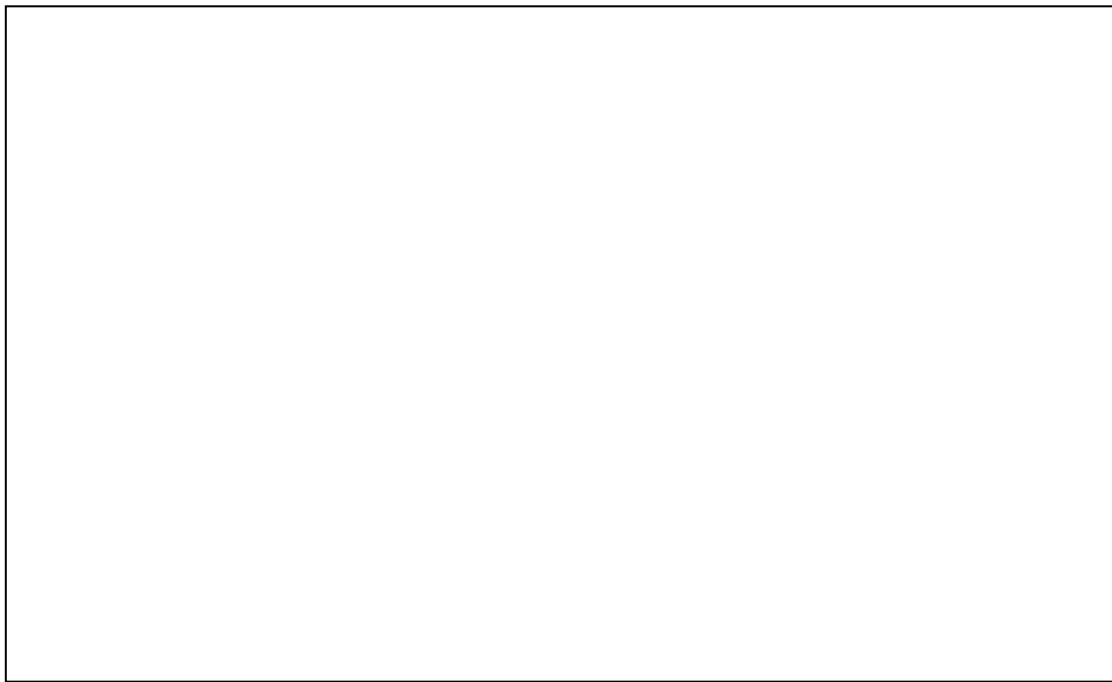


図-1 〇〇

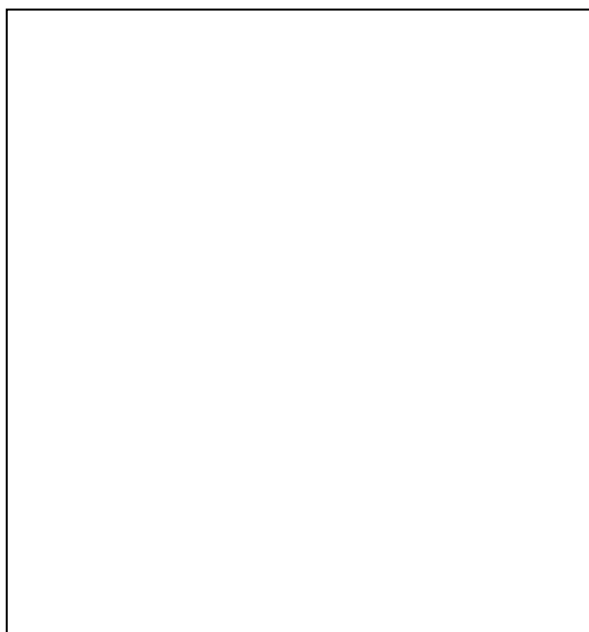


図-2 〇〇

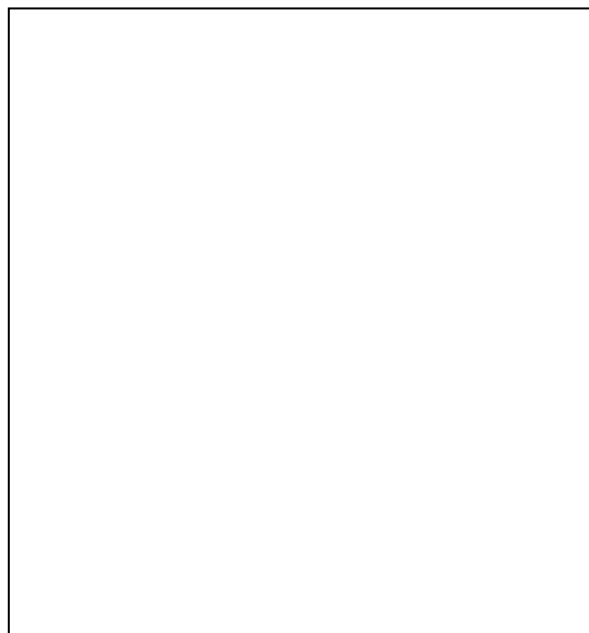


図-3 〇〇

**令和 7 年度土木学会田中賞技術部門
推薦書**

技術の名称

〇〇構造物の〇〇補強工法

技術の特徴がわかる図や写真

〇〇〇〇〇〇（図や写真を示すスペースであるため、文章による説明は最小限とすること） 〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇（レイアウトは自由にしてよい） 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

令和 7 年度土木学会田中賞技術部門 推薦書	技術の名称 〇〇構造物の〇〇補強工法	
---------------------------	-----------------------	--

技術の特徴がわかる図や写真
〇〇〇〇〇〇（図や写真を示すスペースであるため、文章による説明は最小限とすること） 〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇（レイアウトは自由にしてよい） 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

**令和 7 年度土木学会田中賞技術部門
推薦書**

技術の名称

〇〇構造物の〇〇補強工法

技術の特徴がわかる図や写真

〇〇〇〇〇〇（図や写真を示すスペースであるため、文章による説明は最小限とすること） 〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇（レイアウトは自由にしてよい） 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

**令和 7 年度土木学会田中賞技術部門
推薦書**

技術の名称

〇〇構造物の〇〇補強工法

技術の特徴がわかる図や写真

〇〇〇〇〇〇（図や写真を示すスペースであるため、文章による説明は最小限とすること） 〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇（レイアウトは自由にしてよい） 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

対象技術の開発者 連絡担当者リスト

受賞のお知らせ等が速やかに行えるよう、対象技術の開発者の連絡担当者の情報を以下にご記入の上、候補推薦書とともにご提出下さい。

対象技術の開発者	所属先（会社名等）：
	連絡担当者氏名：
	（〒 ）
	Tel: _____ Email: _____
	所属先（会社名等）：
	連絡担当者氏名：
	（〒 ）
	Tel: _____ Email: _____
	所属先（会社名等）：
	連絡担当者氏名：
	（〒 ）
	Tel: _____ Email: _____

＊記入枠は，必要に応じて増減して下さい。